

## 原料費調整制度に基づく2022年11月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社  
 広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年11月検針分の単位料金を調整した結果、2022年10月検針分と比べ、1m<sup>3</sup> (45MJ) につき4.46円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年6月～2022年8月の平均原料価格が54,080円/t (2022年11月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を54,080円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に34m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2022年10月検針分と比較して、152円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年11月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～22m <sup>3</sup>	料金表B 23～223m <sup>3</sup>	料金表C 224m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	145.27	137.90	130.53
(参考) 10月 調整単位料金	140.81	133.44	126.07

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	(消費税込)		
	2022年 10月	2022年 11月	増減
適用料金(円/月)	5,460	5,612	152

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年5月～2022年7月 の平均 (10月検針分)	2022年6月～2022年8月 の平均 (11月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	52,950	58,170	5,220
LNG	110,680	123,030	12,350
LPG	110,320	104,190	▲ 6,130
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	25,600	30,800	5,200

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{123,030} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{104,190} \times 0.0371 \\
 & & & \\
 & & = & \boxed{58,170.89} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & & = & \boxed{58,170} \text{円/t (調整上限54,080円/t)}
 \end{aligned}$$

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 & \boxed{54,080} \text{円/t (調整上限)} - \boxed{27,350} \text{円/t} &= & \boxed{26,730} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & & & \boxed{26,700} \text{円/t}
 \end{aligned}$$

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \boxed{26,700} \text{円} / 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\
 &= \boxed{22.90} \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2022年 10月	2022年 11月	増減
適用料金(円/月)	5,460	5,612	152

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\
 &+ \text{調整単位料金}(\boxed{115.00} \text{円} + \boxed{22.90} \text{円}) \times 34 \text{m}^3 \\
 &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \quad \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が54,080円（2022年11月分に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は54,080円としてガス料金の調整を行います。